

静岡県立総合病院形成外科研修プログラム (静岡県立総合病院)

1 はじめに

形成外科は臨床医学の一端を担うものであり、先天性あるいは後天性に生じた変形や機能障害に対して外科的手技を駆使することにより、形態および機能を回復させ患者の Quality of Life の向上に貢献する外科系専門分野です。

本プログラムの特徴は豊富な施設群と症例数・指導医数になります。

基幹施設の静岡県立総合病院と東京大学附属病院を中心に、形成外科研修における重要症例が豊富に集まる研修施設で研鑽を重ねることができます。

プログラム統括責任者 静岡県立総合病院 形成外科 主任医長 山本 裕介



2 目的

本専門研修プログラムは医師として必要な基本的診断能力（コアコンピテンシー）と形成外科領域の専門的能力，社会性，倫理性を備えた形成外科専門医を育成することを目的としています。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡県立総合病院形成外科

(2) 専門研修連携施設

自治医科大学附属病院、埼玉医科大学 総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉県立小児医療センター、総合病院国保旭中央病院、名戸ヶ谷病院、新松戸中央総合病院、国立がん研究センター東病院、フジ虎ノ門整形外科病院、東京山手メディカルセンター、同愛記念病院、東京都立墨東病院、関東中央病院、J R 東京総合病院、自警会 東京警察病院、東京都立大塚病院、国立がん研究センター中央病院、東京大学医学部附属病院、東名厚木病院、静岡県立静岡がんセンター、静岡県立こども病院、浜松医科大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院、浜の町病院

4 専攻医受入数

募集人数：4名／年間

5 研修期間

4年間

6 研修計画（例）

専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・修得目標の目安を示します。

- ・ 専門研修 1年目では、一般的な医師としての基本的診療能力、および形成外科の基本的知識と基本的技能の修得を目標とします。
- ・ 専門研修 2年目、専門研修1年目研修事項を確実にこなせることを前提に、形成外科の手術を中心とした基本的技能を身につけていきます。
研修期間中に 1)外傷, 2)先天異常, 3)腫瘍, 4)癒痕・癒痕拘縮・ケロイド, 5)難治性潰瘍, 6)炎症・変性疾患 などについて基本的な手術手技を習得します。
- ・ 専門研修 3年目では、マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技を習得します。
- ・ 専門研修 4年目では、3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を進めていけるようにします。さらに、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につけます。

ローテーション例

	専門研修施設
1年	静岡県立総合病院
2年	静岡県立こども病院
3年	静岡県立がんセンター
4年	東京大学医学部附属病院

7 問い合わせ先

静岡県立総合病院 静岡県立総合病院 形成外科 主任医長 山本 裕介

事務局 総務課人材係 静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

TEL : 054-247-6111 (代)

E-mail : sougou-soumu@shizuoka-pho.jp